#C14

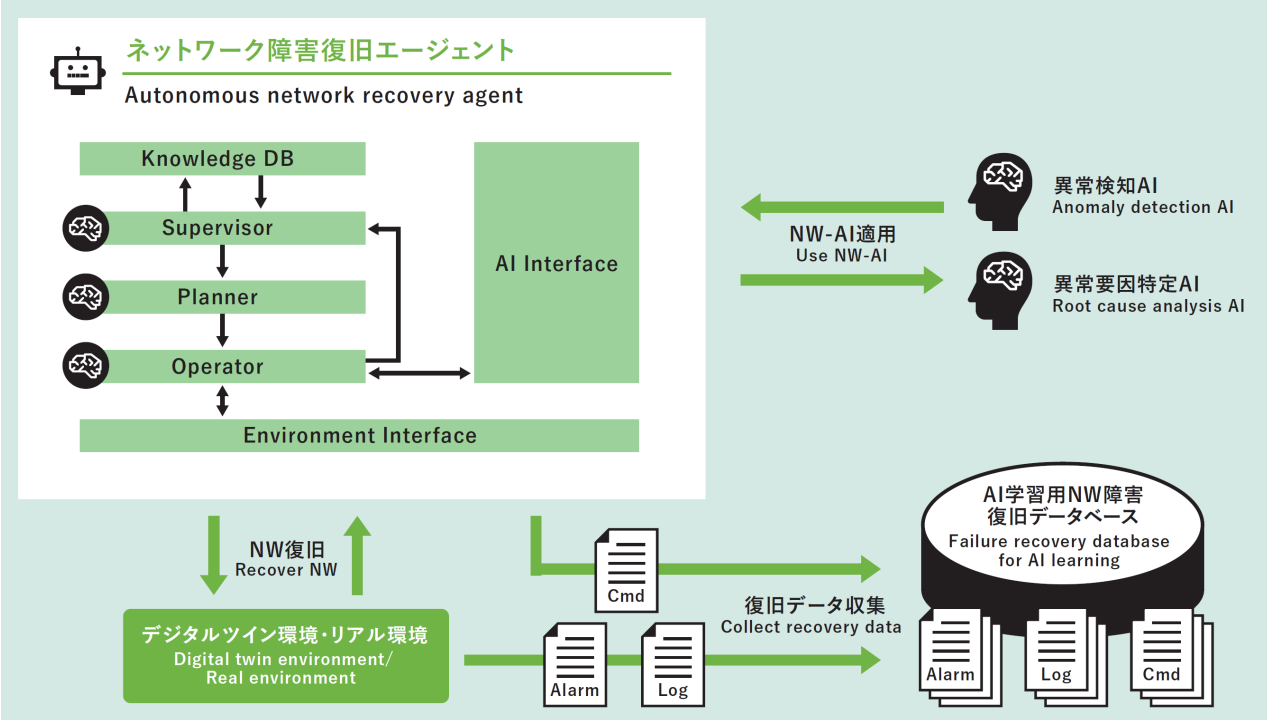
#業務効率化 #DX(デジタル変革)

ネットワーク障害をAIが自律復旧することで運用負荷とダウンタイムを削減します

ネットワーク障害復旧エージェント

背景 – 技術課題

ネットワーク障害は発生パターンが多様化・複雑化しており、障害箇所の特定から適切な復旧手順の選択まで高度な専門知識と迅速な判断が求められます。特に、複数同時障害や連鎖的な障害が発生した場合、人間による観測・分析・意思決定・実行では復旧に時間を要し、その間にサービス影響が拡大してしまいます。



研究目標 – 成果

AIエージェントがリアルタイムでネットワークの状況を把握し、自律的に適切なネットワーク-AIを使った復旧措置を実施することで、ネットワーク運用完全自動化をめざします。

技術ポイント

01 要素技術

- 復旧方策立案エンジン：故障状況をリアルタイム分析し、最適な復旧手順を自動立案
- AI自律学習基盤：デジタルツイン環境で未発の障害パターンを事前学習し、対応策を蓄積

02 市中技術差異点

ネットワーク装置を直接制御できるネットワーク障害復旧エージェントを実現。商用環境相当のデジタルツイン上で、人間の介在なしに故障の検知から復旧までの完全自動化を実証

利用シーン 情報技術	**R&Dフェーズ** 研究
技術確立予定時期 FY25-26	**ビジネス化予定時期** FY27-29

【出展企業】
NTT株式会社 ネットワークサービスシステム研究所

【問い合わせ先】
通信トラヒック・品質・オペレーション研究プロジェクト

【共同出展社/社外連携先】
NTT西日本株式会社 R&Dセンタ

【関連Link】
ー